

会 議 録

- 会議名称 令和5年度第3回渋川市環境審議会
- 日 時 令和6年2月2日(金) 午後1時30分～午後2時20分
- 場 所 本庁舎 第2会議室
- 出席者 《審議会委員》
佐藤会長、吉原副会長、中山委員、畠中委員、中島委員、丸山委員、角田委員、伊東委員、狩野委員、石田委員、井野委員、野村委員、鳥山委員、田部井委員、矢野委員、飯塚委員、小林委員
以上17人
《事務局》
市民環境部長、環境森林課長、環境政策係長、環境政策係員

概 要

1 開会

2 会長あいさつ

3 議事

(1) 議案第1号 渋川市環境基本計画改訂(案)の諮問について

- 質疑1 各施策の指標に設定した目標値についてはどのような検討があったのか。
- 答弁1 指標の目標値については、指標の担当所属により検討され、また各個別計画等において設定されているものである。本基本計画改訂にあたり庁内関係所属長による検討を経て、基本計画改訂(案)に設定しているものである。
- 質疑2 基本計画改訂(案)の見直しの範囲はどこまでか。
- 答弁2 基本計画改訂(案)の見直し範囲は施策体系の個別目標である。
- 質疑3 水源涵養の木の育成とはどのようなものがあるのか。
- 答弁3 森林経営管理事業等、森林の適正な管理に資するための事業がある。
- 質疑4 遊休農地の解消に関する目標値が現状値と乖離しているのではないか。
- 答弁4 各事業における個別目標を設定する中で、目標値に達成できるよう、取組方法についても検討し、実行しているところである。
- 質疑5 国において温室効果ガスの削減量を50%としているが、市の取組では足りないのではないか。
- 答弁5 国の目標値を達成するには国全体として取り組まなければならない。市としても現在の事業を推進しつつ、削減できるよう取り組んでいきたい。

質疑6 木質バイオマスの活用についてどのように考えているのか。

答弁6 本市の特性として森林が多く、木材の活用が期待される場所である。現在でも民間事業者により木質バイオマス発電の研究や事業の検討が行われており、市としても情報の共有等によりできる範囲の中で連携を行っていききたい。

質疑7 地球温暖化対策計画（区域施策編）の策定についてどのように取り組んでいるのか。

答弁7 本計画においても、地球温暖化対策計画（区域施策編）の策定についての検討を明記しており、今後の進め方を含めて、検討して行くこととしたい。

会 長 本計画改訂（案）について、本審議会に諮問がされたが、この内容で答申することとしたいが、よろしいか。

委 員 異議なし。

4 その他

令和5年度の視察研究は実施しないこととなった。

5 閉 会

－ 以上 －